

エコロジール事例集

メロンつる割病①（茨城県）

品種：オトメ
台木：デュアルアタック

前作では圃場全体に、メロンつる割病が発生していたが、エコロジール処理後、全調査地点で*Fusarium oxysporum*（フザリウム・オキシスポラム）が検出限界以下に！

処理条件

[面積] 297㎡ [エコロジール使用量] 300L
[土壌の種類] 黒ボク土 [希釈倍率] 約70倍
[処理期間] 2023/8/3～9/1 [希釈液使用量] 約70L/㎡

処理の流れ

方法：被覆後に希釈液投入

- ①耕うん、整地、均平化
- ②事前灌水
- ③灌水チューブを敷設、被覆、水枕を設置
- ④エコロジールを希釈投入
- ⑤30日間被覆
- ⑥被覆除去
- ⑦基肥・たい肥投入、耕うん、畝立て後定植

使用資材

[灌水チューブ] スミスンスイ
(メロン・スイカ用)
[被覆資材] 農業用ポリエチレンフィルム
[液肥混入器] スミチャージ

ポイント

ここでは、気密性が高まるように被覆後、フィルム周辺に水枕を設置しました。

結果

エコロジール処理前

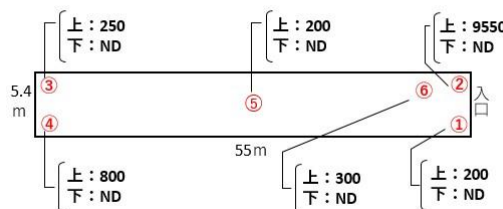
[圃場図]



栽培中の様子(7月26日)

*Fusarium oxysporum*の土壌菌密度

単位：CFU/g土壌



上層：10～20cm
下層：50～60cm

※NDは検出限界以下

処理前、
上層部では
Fusarium
oxysporumが
高密度で検出された

エコロジール処理後

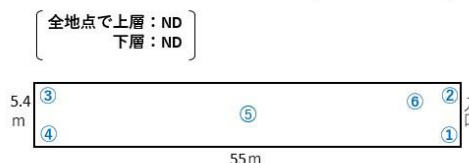
[圃場図]



定植後の様子(1月12日)

*Fusarium oxysporum*の土壌菌密度

単位：CFU/g土壌



上層：10～20cm
下層：50～60cm

※NDは検出限界以下

処理後、
Fusarium
oxysporumが
全調査地点で
検出限界以下になった

生産者のコメント

定植後の作業等には特に問題なく、生育も順調です。処理作業には手間がかかりますが、効果があれば、活用していきたいです。